

2018年7月27日 第7号



たてくろジオパークだより

■特別寄稿 魚津市長 村椿晃

立山黒部ジオパークの特徴は、4000mもの高低差が狭い範囲にダイナミックに凝縮されている地形であることで、このような地域は世界的に見てもとても稀であると言われています。この特徴をさらにコンパクトに納めたのが魚津市で、海岸線からわずか25kmの距離に標高2,400m級の山々が連なっています。

魚津の山岳地帯に降り注いだ雨や雪は、川や地下水となり富山湾に注ぎ込みます。水は森を育み、森の栄養を運び、様々な生き物を養いながら海に達し、再び雨や雪となって降り注ぎます。豊かな自然に囲まれた魚津市は、この「水循環」の恩恵を受けて成り立っているのです。そのことを市民の皆様に幅広く知っていただくため、魚津市では「水の学び舎ツアー」というイベントを開催しております。このツアーでは、東山田筒分水槽や洞杉、片貝川をはじめとした市内各地の水循環遺産を巡り、体感しながら学ぶことが特徴です。ツアーの企画から解説まで行うのは市民ガイド「うおづ水守」の皆さんで、自然・歴史・文化といった様々な切り口で参加者に学びの場を提供しています。

今後も自治体と市民が一丸となってジオパーク活動に取り組み、地域が盛り上がるよう努めてまいります。

■立山黒部ジオパークシンポジウム（ご案内）

ジオパークの目的は、地質地形はじめ多様な優れた地域資源を地域が自主的に保全し、活用することで持続可能な地域を作ることです。立山黒部ジオパークならではの地域づくりを皆さんと考えるシンポジウムです。

日時 平成30年7月31日（火） 13:30～17:00（開場12:30）

会場 TOYAMAキラリ（ファーストバンク・キラリホール）富山市西町5-1

◆基調講演

立山黒部ジオパークの基本計画について

講師 水嶋一雄 氏〔一般社団法人黒部川扇状地研究所 所長〕

ジオパーク活動が目指すもの 地質遺産の保護と教育と地域経済活動の統合

講師 目代邦康 氏〔日本ジオサービス株式会社 代表取締役社長〕

◆パネルディスカッション

テーマ 「ジオパークと持続可能な地域づくり～課題解決の先進地域を目指して～」

コーディネーター 目代邦康 氏〔日本ジオサービス株式会社 代表取締役社長〕

パネリスト 森 雅志 氏〔富山市長〕

中川 大 氏〔富山大学副学長〕

新田八朗 氏〔日本海ガス絆ホールディングス株式会社 代表取締役社長・富山経済同友会 代表幹事〕

藤田 香 氏〔日経BP社日経ESG編集シニアエディター・プロデューサー〕

水嶋一雄 氏〔一般社団法人黒部川扇状地研究所 所長〕



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK



■各市町村・博物館 ツアー・イベント紹介（ご案内）

立山黒部ジオパークのテーマに関係するツアーやイベントをご紹介します。

◆ツアー

8月26日(日)	フィールドウォッチング（立山カルデラ砂防博物館）	8:00～17:30
	「立山の氷河展望」	参加料 大人6000円 小学生3500円

◆イベント

7月21日(土)	夏の企画展（まいぶんKAN）	入館料200円
～9月30日(日)	ヒスイの里の玉づくり	

※詳細は各主催者のHPをご覧ください。

■うなジオにジオガイドが常駐（ご案内）



富山地方鉄道の宇奈月温泉駅近くの、立山黒部ジオパークの拠点施設 わくわく広場「うなジオ」では、11月中旬までの土日祝日及び8月13日（月）～16日（木）に、ジオガイドが常駐しています。施設内の解説や周辺のガイドを行っておりますので、ぜひお立ち寄りください。

※なお、周辺のガイド中で不在の場合はご容赦ください。

☆7月の常駐ガイド

28日（土）/山本ガイド 29日（日）/松木ガイド

☆8月の常駐ガイド

4日（土）/栄ガイド	5日（日）/中村ガイド	11日（土）/佐野ガイド
12日（日）/佐野ガイド	13日（月）/野坂ガイド	14日（火）/松木ガイド
15日（水）/野坂ガイド	16日（木）/橘ガイド	18日（土）/関野ガイド
19日（日）/山本ガイド	25日（土）/田口松ガイド	26日（日）/竹内ガイド

■第21回立山登山マラニック（ご案内）

高低差 3003m！ 浜黒崎海岸キャンプ場から雄山山頂までを1日で駆け上がる立山登山マラニックが今年も開催されます。今回で21回目、歴史のある大会です。

開催日時 平成30年8月25日（土） 4:00～15:00

◇マラニックの部 65km（高低差 3,003m）

スタート：浜黒崎海岸キャンプ場

参加者数：250名

◇ウォークの部 27km（高低差 2,500m）

スタート：立山駅

参加者数：70名



立山黒部ジオパークの特徴である高低差 4,000mのうち 3,003mを体感できるイベントです。参加者募集期間は過ぎていきますので出場はできませんが、全国でも有数のハードコースである立山を走る参加者を、沿道からの声援で盛り上げましょう。



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK



■ 「立山黒部ジオパーク」 ジオガイドと行く 黒部峡谷たっぷりまんきつ旅 (ご案内)



黒部峡谷の新たな魅力に出会える旅。立山黒部を知り尽くしたジオガイドと一緒に樺平を散策！

開催日

- ① ~~6月23日(土)~~ ② ~~7月8日(日)~~
 ③ ~~7月20日(金)~~ ④ ~~7月30日(月)~~
 ⑤ 8月12日(日) ⑥ 8月26日(日)
 ⑦ 9月11日(火) ⑧ 9月23日(日)
 ⑨ 10月13日(土) ⑩ 10月26日(金)

受付定員：20名 最少催行人数：10名

料金：(大人) 8,000円、(小学生) 6,000円

☆8月26日、9月11日の2回は**会員限定特別割引！！**

(大人) ~~8,000円~~ → 6,000円
 (子供) ~~6,000円~~ → 4,000円

※ご家族の分も割引いたします。割引適用の手続きのため、当協会にお申し込みください。

旅行代金に含まれるもの：黒部峡谷鉄道往復乗車料金(宇奈月⇄樺平)、昼食代、入浴代、ガイド代

※お申し込み・詳細問い合わせは、一般社団法人 黒部・宇奈月温泉観光局 TEL：0765-57-2850

たてくろ 見どころ紹介コーナー

交通の要「愛本」

～火山岩を巧みに利用した先人たち～

今から6000万年前ごろ、立山黒部ジオパークは大陸の端に位置しており、活発な火山活動が起きていました。その痕跡となる岩石を、黒部川扇状地と黒部峡谷の境界にあたる愛本で見ることができます。この岩石はリソイダイトと呼ばれ、ちょうど黒部川の流れを妨げるように直交する方向で分布しています。リソイダイトは緻密で硬いため水によって削られにくく、愛本では川幅が極端に狭くなっています。江戸時代、この堅牢な地質と狭い地形を利用して黒部川を渡るために築かれたのが愛本橋です。愛本の地形は、黒部川を渡る上での交通の要として古くから利用されてきました。



川幅が極端に狭い愛本

立山黒部ジオパーク協会 事務局 〒930-0856 富山市牛島新町5-5 タワー111ビル1階
 Tel 076-431-2089 e-mail info@tatekuro.jp
 Fax 076-482-3204 http://tatekuro.jp/ http://facebook.com/tatekuro



立山黒部ジオパーク
 TATEYAMA KUROBE GEOPARK

